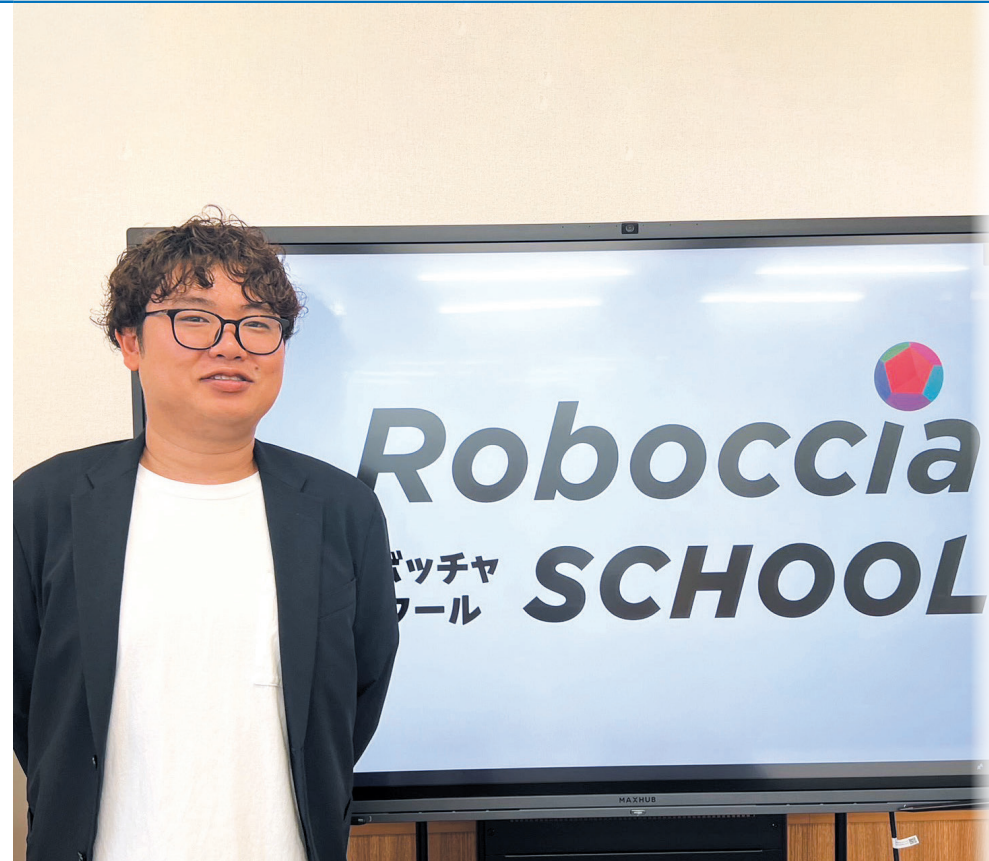




株式会社ハイパーラーニング
塾長

早坂 拓也

早坂拓也は、株式会社ハイパーラーニングに所属し、現在は塾長として活躍している。生徒が夢を語り、それを応援できる環境をまづ宮城県からつくっていきたくと奮闘する早坂に、新たにスタートした「非認知能力を高めるための取り組み」について話を聞いた。

「非認知能力」との 出会いがもたらした 教育観の変化

受験対策をメインとしながら、2025年4月からは非認知能力の向上をはかるためのカリキュラムも始まり、総合的な学びの場として運営されているハイパーラーニング。しかし、早坂が「非認知能力」という言葉を知ったのは2024年7月と、意外にも日が浅い。M & Aによって現在の社長である高橋と出会い、「今後は子どもたちの非認知能力を高められるよ

うなコンテンツを導入したい」という話を聞いた早坂は、すぐにインターネットで検索して膝を打ったのだった。

「ああ、これだ！」

学習塾を運営する上でずっと抱えていた、「現代の子どもたちには何かが足りない」というモヤモヤした気持ち。「非認知能力」という言葉こそ知らなかったものの、「勉強する上でも社会に出る上でも、もつと必要な能力があるのではないか」と感じていたため、そこによくやく名前がついて腹落ちしたような感覚を味わった。

「私も、子どもたちの非認知能力を向上させるようなコンテンツをぜひ塾に導入したいと思います」。

高橋にそう告げ、以来、2人は同じ方向を向いて取り組みを進めてきたのだった。

目に見えない効果を 実感、生徒の主体性を 育む教育

子どもたちの非認知能力を高めるために導入された一つ目のコンテンツは、ロボットチャスクールだ。教育用のレゴブロックでロボットを組み立て、ロボットチャという新しいパラスポーツを通して、プログラミングやデータサイエンスについての学びを深める。二つ目のコンテンツは、さまざまな業種の最先端で活躍するプロフェッショナルたちの話を聞くスコップスクール。過去には海洋生物研究家を招き、異なる生き物たちが共生



▲左から高橋社長、早坂さん、中村さん

するための学びを得た。

フランチャイズであるため、大枠のカリキュラム自体はあらかじめ決められているものの、意欲的に取り組む生徒がいれば授業時間を延長したり、授業がない日でもロボットの改良をしたり、名取教室と五橋教室での交流戦をおこなったりすることもある。非認知能力はその名の通り目に見えたり数値化したりできるものではないが、親に連れてこられて通い始めた引ッ込み思案な生徒が、少しずつ活発に発言するようになるなど、少なからず効果を実感している。

点数だけでは はかれない力を育む

「非認知能力」という言葉は少しずつ世間に知られてきたものの、一般の母親や父親にはまだまだ浸透していない。学習塾の性質上、仕方のないことはあるが、「それよりもまず国語や算数の成績をどうにかしてほしい」と言われてし



まうのだ。

教科書だけ渡された数十年前とは違い、今は教科書とは別に問題集が配布され、指定された範囲の中から、そっくりそのまま定期試験に出題されることがほとんどとなった。暗記すればもちろん点数はとれるが、それで根本的な学力が向上しているかと問われれば疑問が残る。ハイパーラーニングの中にも、通常授業だけ受講している生徒と、ロボットチャスクールやスコップスクールにも並行して通う生徒が存在する。学生時代のテストの点数だけでは差がつかないかもしれないが、早坂が懸念しているのは、社会に出て「問題集のな

いたタスク」と対峙したときの対応力だ。子どもたちにはもつと自分で考える力を身につけてほしいと願いながら、今後は子どもたちの母親や父親、そして外部へ向けて、「非認知能力を向上させるための取り組み」をもっと周知するのが自分たちの役割だと感じている。

早坂の取り組みは、点数だけでは測れない子どもの可能性を拓く挑戦と言える。この試みが実際に子どもたちの未来をどう変えていくのか、さらに深く掘り下げていく。

企業情報

設立年：2012年4月

年商（さくら株式会社）：12.8億円

年商（さくらグループ全体）：17.2億円

※ 2025年3月決算時点

／さくらの新体制を大調査！／ 組織改革と 人材育成で 描く未来

社長秘書
管理部 人事課 課長
わたなべ けいた
渡邊 恵太 さん

「あなたの声は、会社に届いていますか？」4月に実施された組織改革は、まさにこの問いに応えるために実施されました。
社長秘書兼管理部人事課課長を務める渡邊さんは、従業員一人ひとりの声を聞き、
より良い会社づくりを進めるために奔走しています。組織の現状と未来について渡邊さんの言葉から紐解きます。

組織改革に至った背景や現在の変化

「誰に聞けば良い？」をなくす、 組織改革の裏側

4月に組織改革を実施し、以前の総務部を管理部に再編しました。これは、従業員の増加に伴い、高橋代表が「皆の意見や話を受け止める部署が必要だ」と感じたことが背景にあります。そこで、人事課と企画広報課を新設し、経理課と合わせて管理部として細分化しました。この改革により、事務職や現場の職人さんたちが、誰に何を頼めば良いか、誰がどの業務を担当しているのかが明確になりました。その結果、部署間の連携がスムーズになり、業務の効率化に繋がっています。

現在注力している3つの取り組み

人材評価制度の制定と採用活動の 強化、全社員向け研修の導入

社員の仕事の成果を正しく評価し、給与や賞与に反映させるための「人材評価制度」を約1年かけて制定します。2026年度の運用開始を目指し、現在最終調整中です。
また、将来を見据えた採用活動を強化しており、高卒・大卒を合わせて10名程度の確保を目標に掲げ、学校訪問やイベント参加を積極的に行っています。さらに、社員の内面的な成長を促すため、これまで実施されていなかった全社員向け研修の導入を計画しており、コンプライアンスやマネジメント等のテーマで学びの場を提供していく予定です。

新たに見えてきた課題と対応策

大卒採用の早期化に伴い、 長期的な関係構築がカギ

現在、大卒採用の早期化が大きな課題だと感じています。採用活動が年々早まり、6月時点で8割の学生が内定を獲得している状況です。これに対応するためには、インターンシップを含め、学生との関係を長期的に構築していく必要があります。この解決策として、「スマイルプロジェクト」のような地域貢献イベントへの学生ボランティアの受け入れを検討中。当社の活動に学生が関わることで企業アピールと、優秀な人材の確保に繋がると考えています。11～12月には大卒向けのイベントに参加し、具体的なインターンシップの機会を提供していく予定です。

会社をより良くするためのお願い

あなたの「こうなったら良いな」を 聞かせてください！

例えば、「こんな研修があれば助かる」「こんな制度があったら嬉しい」といった具体的な提案や、「従業員同士の絆を深める企画があれば」といった意見も大歓迎です。私自身、皆さんに「さくらのファン」になってもらえるよう、内面的な充実や評価に対する不安の解消に力を入れたいと思っています。一人ひとりの声が、より良い会社作りの原動力になるため、どんな些細なことでも構いません。ぜひ、皆さんのアイデアを聞かせてください！

さくらグループならではの 良いところ！

皆さんが思う「会社の良いところ」はなんですか？今回は3名の方に職場の雰囲気や会社の好きなどころを伺いました。
三者三様の視点から語られる「さくらグループらしさ」に、きっと共感するはず！



工事部1課 主任

さとう かつら
佐藤 桂さん

所属部署の仕事内容

配管製作はもちろんのこと、現場に行ってそれらを取り付けています。工場よりも現場での作業がメインです。

部署の雰囲気

仕事だけではなく、趣味も共有しているためよく会話が弾みます。

部署の良いところ

挑戦したことに対して素直に賞賛、応援してくれる人たちがばかりです。結果が伴わなくても誰も責めたり笑ったりしません。自分の「やってみなきゃ覚えないう」精神に賛同してくれています。

さくらグループのここが好き！

自社のことだけを考えるのではなく、「市場・コミュニティの発展に寄与していこう」「事業を通じて社会貢献を実現していこう」という強い意志をもっているところ。日々の広報活動の内容を聞いてそう感じます。



工事部2課 主任

いわい しょういち
岩井 翔一さん

所属部署の仕事内容

工事部2課では、主にプラント関連の仕事を多く担当していると思います。

部署の雰囲気

明るく元気で、皆、和気あいあいです。

部署の良いところ

困ったときに助け合えるところ！現場で誰かが困っていたら、すぐに「どうした？」と聞いたり、逆に「これ、どうしたら良い？」とすぐに言えたり、言われたりするところ。です。

さくらグループのここが好き！

皆、明るく、どれほど苦しいときでも助け合える団結力です！昔、納期に間に合わないかもしれないと不安になったとき、現場から帰ってきた人たちが手伝いに入ってくんだり、夜遅くまで作業をし、なんとか間に合わせる事ができました。



工事部4課

はやさか たかひろ
早坂 貴洋さん

所属部署の仕事内容

主に配管、架台の制作、洗浄、養生、運搬を行っています。

部署の雰囲気

社員も下請業者の皆さんも真面目で、良い雰囲気で働いていると思います。

部署の良いところ

間違っているところは優しく丁寧に教えてくれて、部下や後輩思いです。私も、工場や現場で作業していたときに間違えてしまうことがありましたが、その都度、上司や先輩に丁寧に教えていただきました。今では後輩もでき、自分が教える立場になったので、この経験を活かして頑張りたいと思います。

さくらグループのここが好き！

とても雰囲気が良く、新入社員が加わり、上司や先輩が優しく教育している姿を見て、「さくらは良いところだな」と改めて思いました。新入社員が段々と成長していく姿が見えるので、自分も負けずに仕事に励みます。また、福利厚生が充実している点も魅力だと思います。